

- $S^2 := \{u \in \mathbb{R}^3 \mid |u| = 1\}$ の向きを $n: S^2 \rightarrow \mathbb{R}^3, n(u) = u$ で与える (例 8.10 参照). $D^\circ := \{(s, t) \in \mathbb{R}^2 \mid s^2 + t^2 < 1\}$ とおき, 各 $u \in V_z^+ := \{(x, y, z) \in S^2 \mid z > 0\}$ のまわりの局所座標 $\varphi: D^\circ \rightarrow V_z^+, \varphi(s, t) := (s, t, \sqrt{1 - s^2 - t^2})$ を考える (例 7.3 参照).
 - $\partial_s \varphi := \frac{\partial \varphi}{\partial s}$ などと略記する. $\hat{n} := \partial_s \varphi \times \partial_t \varphi$ を計算し, φ は n に適合することを示せ. つまり, 任意の $a \in D^\circ$ に対し $u = \varphi(a)$ とおくと, $\hat{n}(a) = kn(u)$ となる $k > 0$ が存在することを示せ.
 - \mathbb{R}^3 上のベクトル場 $V(x, y, z) := (x, y, z)$ に対し, $V(\varphi(s, t))$ を求めよ. また $V(\varphi(s, t)) \cdot \hat{n}(s, t)$ を求めよ.
 - $\varphi(D^\circ) = V_z^+$ であることを示せ.
 - $\int_{V_z^+} V \cdot n dS := \int_{D^\circ} V(\varphi(s, t)) \cdot \hat{n}(s, t) ds dt$ を計算せよ.
 - $\varphi': D^\circ \rightarrow V_z^+$ を, $\varphi'(s, t) := (t, s, \sqrt{1 - s^2 - t^2})$ で定義する. φ' は n に適合しないことを示せ.
 - $\hat{n}' := \partial_s \varphi' \times \partial_t \varphi'$ とおく. $\int_{D^\circ} V(\varphi'(s, t)) \cdot \hat{n}'(s, t) ds dt$ を計算し (4) と比較せよ (問題 3 も参照).
- S^2 の向き $n: S^2 \rightarrow \mathbb{R}^3$ は問題 1 と同じとする. $V_+ := \{(x, y, z) \in S^2 \mid z > -1\}$ とおき, 各 $u \in V_+$ のまわりの局所座標 $\psi: \mathbb{R}^2 \rightarrow V_+$ として $\psi(s, t) := \frac{(2s, 2t, 1 - s^2 - t^2)}{1 + s^2 + t^2}$ を考える (演習 8, 問題 1 の立体射影).
 - ψ は n に適合することを示せ.
 - ベクトル場 $V(x, y, z) := (x, y, z)$ に対し, $\int_{V_+} V \cdot n dS$ を計算せよ.
 - $\psi(D^\circ)$ は問題 1 の V_z^+ に一致することを示せ. $\psi: D^\circ \rightarrow V_z^+$ を使って $\int_{V_z^+} V \cdot n dS$ を計算し, 1. (5) と比較せよ.
- (S, n) を向き付けられた曲面とする. $u \in S$ のまわりの局所座標 $\varphi: U \rightarrow S$ と $\varphi': U' \rightarrow S$ で, φ は n に適合し, φ' は n に適合せず, $\varphi(U) = \varphi'(U') \subset S$ をみたすものをとる. このとき \mathbb{R}^3 上のベクトル場 V に対し次を示せ:

$$\int_U V(\varphi(s, t)) \cdot \hat{n}(s, t) ds dt = - \int_{U'} V(\varphi'(s, t)) \cdot \hat{n}'(s, t) ds dt$$

- 一般に, $u, v \in \mathbb{R}^3$ と $a, b, c, d \in \mathbb{R}$ に対し, $(au + bv) \times (cu + dv) = (ad - bc)u \times v$ であることを示せ. これを使って補題 9.6 の証明を完成させよ.
- C^∞ 級関数 $f: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}$ をスカラー場とも呼ぶ. 向きづけられた曲面 S に対し, $u \in S$ のまわりの n に適合する局所座標 $\varphi: U \rightarrow S$ を取って, スカラー場 f の $A := \varphi(U)$ に沿った面積分を次のように定義する:

$$\int_A f dS := \int_U f(\varphi(s, t)) |\hat{n}(s, t)| ds dt, \quad \text{ただし } \hat{n} := \partial_s \varphi \times \partial_t \varphi.$$

- $\int_A f dS$ は n に適合する局所座標 φ の取り方によらないことを示せ.
- 定数関数 1 に対し, $\int_A 1 dS$ を A の面積と呼ぶ. 問題 2 の $\psi: \mathbb{R}^2 \rightarrow V_+$ に対し, $\int_{V_+} 1 dS$ を計算せよ.
- トーラス T の局所座標として, 演習 10, 問題 3 の $\varphi: (0, 2\pi) \times (0, 2\pi) \rightarrow T$ を取る.
 - S の向き $n: T \rightarrow \mathbb{R}^3$ を, n が T で囲まれる有界領域から非有界領域に向かうよう定義する. φ は n に適合するか? (ヒント: 例えば $\varphi(\pi, \pi)$ における n の向きを見れば十分)
 - $V(x, y, z) := (y, -x, z)$ に対し, $\int_{\varphi(U)} V \cdot n dS$ を計算せよ.
 - $\varphi(U)$ の面積 (問題 5 参照) を計算せよ.

(提出の必要はありません)

補足 1. 問題 4 は, $u = (\partial_s \varphi')(a')$, $v = (\partial_t \varphi')(a')$, $a = (\partial_s \psi_1)(a)$, $b = (\partial_s \psi_2)(a)$, $c = (\partial_t \psi_1)(a)$, $d = (\partial_t \psi_2)(a)$ とすれば補題 9.6 の状況になっています.

遅きに失した感はありますが, 合成写像の (偏) 微分についてまとめておきます. $\varphi = (\varphi_1, \dots, \varphi_m): \mathbb{R}^l \rightarrow \mathbb{R}^m$ と $\psi: \mathbb{R}^m \rightarrow \mathbb{R}^n$ について, $\mathbb{R}^l, \mathbb{R}^m$ の座標をそれぞれ $(s_1, \dots, s_l), (x_1, \dots, x_m)$ と書くとき, $\psi \circ \varphi: \mathbb{R}^l \rightarrow \mathbb{R}^n$ の $a \in \mathbb{R}^l$ にお

ける s_k に関する偏微分は

$$\frac{\partial(\psi \circ \varphi)}{\partial s_k}(\mathbf{a}) = \sum_{i=1}^m \frac{\partial \psi}{\partial x_i}(\varphi(\mathbf{a})) \frac{\partial \varphi_i}{\partial s_k}(\mathbf{a}) \quad (\mathbb{R}^n \text{の元としての等式})$$

です。点 \mathbf{a} を明示せず書けば

$$\frac{\partial(\psi \circ \varphi)}{\partial s_k} = \sum_{i=1}^m \left(\frac{\partial \psi}{\partial x_i} \circ \varphi \right) \cdot \frac{\partial \varphi_i}{\partial s_k} \quad (\text{写像 } \mathbb{R}^l \rightarrow \mathbb{R}^n \text{としての等式})$$

です。高校から知っていたはずの 1 変数関数 $f: \mathbb{R}^1 \rightarrow \mathbb{R}^1$ と $g: \mathbb{R}^1 \rightarrow \mathbb{R}^1$ の場合と比較するといいでしょう :

$$(f \circ g)'(x) = f'(g(x))g'(x), \quad \text{つまり} \quad (f \circ g)' = (f' \circ g) \cdot g'$$

$\frac{\partial \psi}{\partial x_i}(\varphi(\mathbf{a})) \in \mathbb{R}^n$, $\frac{\partial \varphi_j}{\partial s_k}(\mathbf{a}) \in \mathbb{R}$ で、通常はスカラーのほうを先に書くと思いますが、1 変数の場合の公式と対応させるため、あえて上のような順序で書きました。

補足 2 : 局所座標が \mathbf{n} に適合するか否かの判定について。

(S, \mathbf{n}) を向きづけられた曲面とし、 $\varphi: U \rightarrow S$ を $\mathbf{u} \in S$ のまわりの局所座標とします。 $\hat{\mathbf{n}} := \partial_s \varphi \times \partial_t \varphi: U \rightarrow \mathbb{R}^3$ とおくと、任意の $\mathbf{a} \in U$ に対し

$$\hat{\mathbf{n}}(\mathbf{a}) = k\mathbf{n}(\varphi(\mathbf{a})) \quad (\in T_{\varphi(\mathbf{a})}^\perp S) \quad (*)$$

となる $k \neq 0$ が存在します (実際には常に $|\mathbf{n}| = 1$ であることから $k = \pm |\hat{\mathbf{n}}(\mathbf{a})|$ で、これは \mathbf{a} に依存して変化します)。 $k \neq 0$ なのは、局所座標の条件 (iii) により $\partial_s \varphi$ と $\partial_t \varphi$ が常に 1 次独立だからです。任意の $\mathbf{a} \in U$ に対し $k > 0$ であるとき、 φ は \mathbf{n} に適合する、といいました。 $\hat{\mathbf{n}}$ を「 φ が決める $\varphi(U)$ 上の向き」と呼ぶことにすると、元々与えられた向き \mathbf{n} と、 φ が決める $\varphi(U)$ 上の向き $\hat{\mathbf{n}}$ が同じ方向を向くとき、 φ は \mathbf{n} に適合する、というわけです。

φ が \mathbf{n} に適合するか否か調べるには、任意の $\mathbf{a} \in U$ について、(*) をみたま k の符号を調べる必要があります。しかし実際には次のことが言えます :

補題. ある 1 つの $\mathbf{a} \in U$ について (*) をみたま k が正なら、 φ は \mathbf{n} に適合する。

証明. $k = \pm |\hat{\mathbf{n}}|$ でしたが、 k がどの点でも 0 にならないことと $\hat{\mathbf{n}}$ の連続性より、符号は U 全体で一定です (連続関数が符号を変える瞬間には必ず 0 を通る)。よって、ある $\mathbf{a} \in U$ について $k(\mathbf{a}) > 0$ なら、 U 全体で $k = |\hat{\mathbf{n}}| > 0$ です。 □

$k(\mathbf{a})$ の符号を調べる時、 \mathbf{a} はどれでもよいわけですが、計算しやすいものを選ぶとよいと思います。例えば演習 11 の問題 1. (1) の場合、 $\hat{\mathbf{n}}(\mathbf{0})$ と $\mathbf{n}(\varphi(\mathbf{0}))$ を比べると簡単です。

幾何入門レポート問題 11 (2018 年 7 月 6 日)

担当：境 圭一

演習 11, 問題 1 の状況で, $\mathbf{W}(x, y, z) := (xz, yz, 2z^2)$ に対し, $\int_{V_z^+} \mathbf{W} \cdot \mathbf{n} dS$ を計算せよ.
(7/13 の 3 限開始時まで提出してください)

http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/18_geometry/18_geometry.html